

Contents

1. 新入部員紹介
2. アジア選手権結果/鈴木先輩 日本記録更新！
3. 生頼先輩・佐藤先輩 全日本選手権優勝！
4. 全日本女子選手権結果
5. 全日本ジュニア選手権結果
6. 全日本学生選抜/全日本学生新人戦結果
7. 全日本学生個人戦結果
8. 慶応義塾重量挙部創部75周年祝賀会模様
9. 夏合宿・早慶定期戦のお知らせ
10. ウェイトリフティング部資料展示スタート
11. ご支援のお願い 12. 訃報
13. 部奨学金受給者メッセージ
14. 探球会4年ぶり活動再開！ 15. 寄附者ご芳名
16. 2022年度総会報告
17. インカレ女子連覇祝勝会・予餞会模様



全日本選手権67kg級の表彰台に立つ
1位・生頼永人選手と2位・木村勇喜選手

新入部員紹介

新入部員をご紹介します。今年度は選手として女子1名が入部してきました。
例年と同じく以下の質問を投げかけてみましたので、プロフィールと合わせてご覧ください。

- ① なぜ早稲田でウェイトリフティングをやろうと思った？
- ② 試合で注目してほしいところは？
- ③ 早稲田に来て驚いたことは？
- ④ 今後の目標は？



田中 陽
(たなか ひなた)

学部：スポーツ科学部
出身高校：兵庫県・明石城西高校
階級：71kg級/76kg級
ベスト：S:65kg / C&J:83kg

- ① 部活自体の雰囲気がとても良く、ここで強くなりたいと思ったから
- ② 試技の成功率
- ③ 故障中の練習メニューもしっかりしているところ
- ④ 競技面以外のところでも信頼される選手になり、インカレに出場すること

早稲田大学ウェイトリフティング部では
随時、部員を募集しています。
学生トレーナー・マネジャーも募集中です。
興味をお持ちの方はご連絡ください。

<https://www.waseda-wl.com/>



アジア選手権結果/鈴木先輩 日本記録更新！

5月、韓国晋州市で開催されたアジア選手権大会に安嶋千晶選手と鈴木梨羅選手が出場しました。鈴木選手は49KG級でC&ジャーク111kg、トータル194kgを挙げ日本記録を更新するとともにC&ジャークで銀メダルを獲得し5位入賞を果たしました。誠にありがとうございます！

両選手は、9月に世界選手権とアジア競技大会に日本代表として派遣されることが決まっており、来年夏のパリオリンピックに向けた挑戦が続きます。部員・OB・OG一同、お二人の活躍を期待し応援しています。

いつも応援ありがとうございます。

5月に韓国で開催されたアジア選手権大会に49kg級で出場し、長年の目標であった日本新記録(C&ジャークとトータル)を樹立することができました。また、C&ジャークでは銀メダルを獲得しました。

学生時代からずっと温かく見守り、応援し、サポートして下さる皆さまのおかげです。大きな力を授けていただきました。本当にありがとうございます。

試合ベストを大きく更新し、パリ五輪に一步近づくことができ嬉しく思う一方、世界の強さを目の当たりにして身が引き締まる思いがした大会でした。

まずはパリ五輪出場をかけて、9月にサウジアラビアで開催される世界選手権に向けて日々の練習に取り組んでまいります。そして一年後、応援して下さる皆さまに素晴らしい報告ができるよう、さらに精進を積み重ねていく所存ですので、今後とも応援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

鈴木梨羅 (R03卒/ALSOK)

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)



いつも応援ありがとうございます。

今回初めてシニアの国際大会に出場しました。結果として思うような成果を挙げられず、改めて自分の弱さを痛感するとともに、強くなるために自分に何ができるのかをもう一度一から見直す契機となりました。また、プロとして活動させていただいているからには結果を出さなければ意味がないと強く感じた大会でもありました。



(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

さらに、在学中2年間共に切磋琢磨した鈴木梨羅選手が東京オリンピック金メダリストの中国選手をC&ジャークで下し銀メダルを獲得した瞬間を見て、とても大きな刺激を貰いました。卒業して4年経ちますが、こうして在学中と同じように切磋琢磨できる素晴らしいライバルの存在に本当に感謝しています。

今後も早稲田大学で学んだこと、経験したことを糧に、今ある環境に感謝し、精一杯の努力を積み重ねてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

安嶋千晶 (H31卒/Team SAGA SSP)

アジア選手権大会								
階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			S	順位	C&J	順位	記録	順位
W49	安嶋千晶	H31年卒 佐賀県スポーツ協会	82	8位	100	12位	182	11位
W49	鈴木梨羅	R03年卒 ALSOK	83	7位	111 NR	2位	194 NR	5位

【所属表記凡例】R：令和 H：平成

【記録表記凡例】N：日本 R：新記録

生頼先輩・佐藤先輩 全日本選手権優勝！

4月21日～24日、山梨県山梨市の山梨市民総合体育館で全日本選手権が開催されました。

男子は67kg級で生頼永人選手が木村勇喜選手と早稲田OB同士の接戦を制し優勝。続く73kg級でも佐藤康太郎選手が優勝を果たしました。全日本選手権での優勝は1961年(昭和36年)の大沼賢治先輩・窪田登先輩以来実に62年ぶり、部出身者としては初の快挙となります。優勝おめでとうございます！

皆さま、いつもお世話になっております。平成30年卒・佐賀スポーツ協会所属の生頼永人です。

4月に開催された全日本選手権大会に67kg級で出場し、優勝することができました。

試合は、令和3年卒・自衛隊体育学校の木村勇喜選手と最後の一本が終わるまで、どちらが優勝してもおかしくない展開でした。

そのような中、先輩としての意地を見せ、早稲田大学ウエイトリフティング部出身者として初の全日本選手権優勝、個人としても同大会初優勝を果たせたことは、非常に嬉しかったです。

これからの展望としては、秋の鹿児島国体、2024年の全日本選手権、そして佐賀国スポの3試合全て優勝すること、男子67kg級の日本公認最高記録を更新することです。

あと少しの現役生活ですが、これからもよろしくお願いいたします。

生頼永人 (H30卒/Team SAGA SSP)



平素より多大なるご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。4月に開催された全日本ウエイトリフティング選手権に73kg級で出場し、初優勝することができました。社会人として最初の試合で勝利を収めることができ、たいへん嬉しく思います。

今大会は、新しい環境に慣れていなかったり、前の試合からの間隔が1か月しかなかったりとコンディションの調整に不安を抱いていました。その中でもこのような結果を残すことができたのは、学生時代に培った知識、たくさんの方々の支えがあったからこそです。おかげさまで、いつもどおり楽しく試合に臨むことができました。

一方、コンディション調整の段階から試合当日まで多くの課題を見つけることができました。今回の結果に慢心することなく鍛錬を続け日本記録、世界記録更新を狙っていける世界的なスター選手になります。

今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。

佐藤康太郎 (R05卒/自衛隊体育学校)

令和5年 第83回全日本ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M67	生頼 永人	H30年卒 Team SAGA SSP	66.9	128	2位	164	1位	292	1位
M67	千葉 健介	H30年卒 太田区役所	66.44	105	10位	140	9位	245	9位
M67	木村 勇喜	R03年卒 自衛隊体育学校	67	133	1位	158	3位	291	2位
M73	生頼 啓暉	R04年卒 国際自動車(株)	72.95	120	6位	157	4位	277	4位
M73	佐藤 康太郎	R05年卒 自衛隊体育学校	72.7	145	1位	182	1位	327	1位
M81	安達 貴弘	H26年卒 若狭東高校(教)	79.7	133	7位	167	7位	300	5位
M81	駒坂 勇氣	スポ4	79.65	135	5位	165	5位	300	4位

【所属表記凡例】 R:令和 H:平成 スポ:スポーツ科学部

全日本女子選手権結果

女子は49kg級・安嶋千晶選手、76kg級・柏木麻希選手、+87kg級・吉田琴乃選手が優勝しました。

このたびはクラブニュースに掲載していただきありがとうございます。
令和5年度全日本女子選手権の76kg級でスナッチ・C&J・ジャーク・トータル全て1位で優勝することができました。多くの方々から応援をいただき本当にありがとうございました。

今大会は多くの早稲田卒業生リフターと早稲田在校生リフターが出場し、久しぶりに見る顔ぶれに懐かしさを感じつつも、ハイレベルな戦いの数々に多くの刺激をもらった大会でした。

私は大学卒業後5年間京都府の高校教諭として勤務しながら選手を続けています。大学時代に培った知識や技術、考える練習が今の私を支えており、早稲田で多くの仲間と囲まれて切磋琢磨し、「ウエイトリフティングが大好きだ」と思った経験が私にとって大きな財産になっています。

今後は自身もトレーニングに励みつつ、一人でも多く「ウエイトリフティングが好きだ！大学でも続けたい！」と思ってもらえるような選手育成ができるよう頑張ります。これからも応援よろしくお祈いします。

柏木麻希（H31卒/宮津天橋高校・教員）



(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

平素より多大なるご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。
スポーツ科学部4年の吉田琴乃です。

今年4月に山梨で開催された全日本女子選手権と5月に大阪で開催された全日本学生個人戦で+87kg級に出場し優勝することができました。高校時代から本番に弱く、チャンスがある試合では一層緊張してしまいなかなか力を発揮することができず、獲得できたはずの順位を逃すことがありました。この2大会は絶対王者の中嶋友菜選手（東京国際大）が出場しない試合ということもあり、「必ず優勝しなければならない」という気持ちで臨んだ試合でもありました。

今後はチャンスを結果に変えるだけでなく、自分自身の力で勝ち取る試合をしていけるように、また日頃から支えてくださるOB・OGの皆さまにさらに良い報告ができるよう日々精進してまいります。

今後ともご声援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

吉田琴乃（スポーツ科学部4年）

令和5年 第37回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
W45	佐藤 日路	スポ4	44.95	54	7位	68	8位	122	8位
W49	安嶋 千晶	H31年卒 Team SAGA SSP	48.9	84 CR	1位	104	2位	188 CR	1位
W55	吉田 いぶき	スポ4	53.8	68	9位	93	6位	161	7位
W55	堤 茉央	スポ2	54.92	81	3位	98	3位	179	3位
W59	原 志歩	スポ3	58.04	85	4位	104	5位	189	4位
W59	橋本 夏実	スポ3	58.92	82	5位	106	3位	188	5位
W64	加茂 千弦	スポ4	63.8	80	7位	99	8位	179	8位
W71	伊藤 紗彩	スポ4	69.7	85	5位	105	6位	190	6位
W76	柏木 麻希	H31年卒 宮津天橋高校(教)	75.05	98	1位	117	1位	215	1位
W76	田中 美奈	スポ4	74.25	90	2位	112	3位	202	3位
W+87	吉田 琴乃	スポ4	106.3	78	1位	105	1位	183	1位

【所属表記凡例】 H：平成 スポ：スポーツ科学部

【記録表記凡例】 C：大会 R：記録

全日本ジュニア選手権結果

3月3日～5日、三重県四日市市の四日市市総合体育館で全日本ジュニア選手権が開催されました。

女子は、59kg級で原志歩選手が優勝し、11月にメキシコで開催される世界ジュニア選手権の代表選手に内定しました。また、堤菜央選手が55kg級2位、男子も吉野真太郎選手が81kg級2位、長谷川元基選手が96kg級2位でメダルを獲得するなど、次代を担う選手たちが躍動しました。



いつも応援していただきありがとうございます。三重県四日市市で開催された全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会に59kg級で出場し、優勝することができました。

高校一年生のときから出場し、最後のチャンスであったこの試合で初めて優勝することができ、嬉しく思います。また、今大会は11月に開催される世界ジュニア選手権の選手選考大会となっており、強く意気込んで臨んだ試合でした。

目標としていた記録には届かず悔しい思いをしましたが、代表選手に選んでいただきました。ずっと憧れていた日本のユニフォームで試合することを今から楽しみにしています。

このような結果を得ることができたのもサポートしてくださったコーチ陣はじめ日頃から応援してくださっている方々のおかげです。本当にありがとうございます。これからも結果で恩返しできるように日々の努力を怠らずに、世界ジュニア選手権では良い報告をお届けできるよう精進してまいります。

原志歩（スポーツ科学部3年）

令和4年度 JOCジュニアオリンピックカップ 第43回全日本ジュニアウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M81	吉野 真太郎	スポ1	80.8	123	1位	150	2位	273	2位
M89	須藤 之博	スポ1	84.85	130	4位	156	5位	286	4位
M96	長谷川 元基	スポ1	95.05	136	2位	165	2位	301	2位
W55	堤 菜央	スポ1	54.75	78	2位	100	2位	178	2位
W59	原 志歩	スポ2	57.25	84	2位	107 CR	1位	191CR	1位

【所属表記凡例】 スポ：スポーツ科学部

【記録表記凡例】 C：大会 R：記録

※学年表記は大会開催当時



96kg級 長谷川元基選手



81kg級 吉野真太郎選手

全日本学生選抜/全日本学生新人戦結果

3月9日～11日、埼玉県上尾市のスポーツ総合センターで標記2大会が開催されました。

選抜67kg級で西川和真選手が優勝。73kg級に出場した佐藤康太郎選手も大会記録を更新して学生最後の試合を締め括りました。新人109kg級で羽田創選手が優勝。出場選手全員がメダルを獲得しました。



平素よりご声援いただきありがとうございます。スポーツ科学部4年の西川和真と申します。

今年3月埼玉県上尾市で開催された全日本学生選抜大会で67kg級に出場し優勝することができました。2年生から怪我が続いたことで約一年間思うように部活動に打ち込むことができずもどかしい時期もありましたが、それを乗り越え、掴み取ることができた優勝でした。

スナッチ競技で120kg、C&Jジャーク競技では145kgを挙げ、67kg級での自己ベストを更新することができ、現在も順調に記録を伸ばすことができています。

今大会の結果もそうですが、部活動に十分に打ち込むことができているのは、日々支援して下さる皆さまのおかげです。感謝申し上げます。大学最後の年、一番の目標である「インカレ優勝」達成に向けてさらなる努力を積み重ね精進してまいります。そして、今よりも高い記録と良い結果を残し飛躍していく所存ですので今後ともご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

西川和真（スポーツ科学部4年）

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

階級	選手名	学部学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M67	西川 和真	スポ3	66.9	120	1位	145	1位	265	1位
M73	佐藤 康太郎	スポ4	72.85	145 CR	1位	175 CR	1位	320	1位
M81	駒坂 勇氣	スポ3	80.1	130	2位	160	1位	290	2位
M89	小山 秀斗	スポ2	80.2	127	2位	157	3位	284	3位
W76	伊藤 紗彩	スポ3	71.9	88 CR	1位	105	4位	193	3位

【所属表記凡例】 スポ：スポーツ科学部

※学年表記は大会開催当時

【記録表記凡例】 C：大会 R：記録

スポーツ科学部3年の羽田創です。

昨年10月の国民体育大会以来、また大学入学後初めて自らエントリーして、全日本学生新人戦109kg級に出場しました。

結果は優勝でしたが、試合内容や試技は、決してチャンピオンに相応しい内容ではありませんでした。国体以降今大会までの間、膝痛の影響でスクワットやデットリフトなどの補強トレーニングを積むことができなかったため、試技ではファーストプルやクリーンの動作に余裕がありませんでした。

現在は膝の痛みも無くなってきたので、これから補強トレーニングを高ボリュームで積み、軽々と試技を成功できるように頑張ります。今後とも応援よろしくお願いします。

羽田創（スポーツ科学部3年）



階級	選手名	学部学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M109	羽田 創	スポ2	107.5	123	1位	156	1位	279	1位

全日本学生個人戦結果 (1/2)

5月12日～14日、大阪府羽曳野市のはびきのコロシアムで全日本学生個人戦が開催されました。

男子は81kg級で駒阪勇氣選手、89kg級で小山秀斗選手が優勝を果たしました。女子は76kg級で田中美奈選手、+87kg級で吉田琴乃選手が優勝し、早稲田が男女合わせて4階級を制しました。また、橋本夏実選手が64kg級2位、原志歩選手が59kg級3位、伊藤紗彩選手が71kg級3位入賞を果たすなど女子は目標とするインカレ三連覇に向けて弾みをつけました。

小山秀斗選手、田中美奈選手、駒阪勇氣選手に試合後の感想を寄せてもらいましたのでご紹介します。



© 株式会社SHUMA

今回の全日本学生個人選手権を振り返り、人生初の全国優勝を果たすことができ嬉しい反面、思うような試合ができなかったことに悔しさを感じています。

4月に山梨で開催された全日本選手権に記録未達のため出場することができず、自分の無力さを痛感しました。そのため、今回の全日本学生個人選手権では、全日本選手権の基準であるトータル290kgを超える記録を出すことが目標でした。しかし、結果はトータル285kgでまたしても290kgに届かず、悔しさが残りました。

今大会の結果から得られた課題は、C&ジャークの決定力不足が露呈しC&ジャークで一本しか成功できなかった点であると考えています。7月に控えている東日本大学対抗戦では、自身のミスで団体としての得点も失うことになるので、今大会の反省を活かせるよう練習に励みます。

最後になりますが、日頃から支援してくださるOB・OGの方々、指導してくださるコーチの方々、支えてくださるチームの仲間のおかげで競技ができていることに感謝し、これからも精進します。応援ありがとうございました。

小山秀斗 (スポーツ科学部3年)

(写真出典：SHUMAちゃんねる 2023 令和5年度第69回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会【2日目】)

今回全日本学生個人戦で優勝し、C&ジャークでは自己ベストを更新することができました。あまり気負うことなく楽しく試合ができ、喜びを感じるとともに次の目標を定め、課題も見えてきました。

個人の目標としてはC&ジャークで日本記録の126kgを更新すること、団体では全日本大学対抗戦で優勝することが目標です。

練習に取り組む姿勢や少しの意識の違いによって結果が大きく変わってくると思っているので、限られた時間の中で目標を達成するため今まで以上に自分自身を鼓舞してウエイトリフティングに向き合っていきたいと考えています。

早稲田のチーム力をより良い方向に導いて、学年を超えてコミュニケーションをとり、刺激し合い、目標達成に向けて皆で精進していきます。

田中美奈 (スポーツ科学部4年)



© 株式会社SHUMA

(写真出典：SHUMAちゃんねる 2023 令和5年度第69回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会【2日目】)

全日本学生個人戦結果 (2/2)



スポーツ科学部4年、駒阪勇気と申します。
私は5月に大阪で行われた全日本学生個人選手権大会に出場させていただきました。昨年、あと一步という場面で優勝を逃し2位で終わった大会であり、またラストイヤーということもあり「必ず優勝する」という強い気持ちを持って挑みました。

コンディションは良く、万全の状態当日を迎えることができたのですが、いざ試合になると良いところを全く出せず全6試技で成功は2本だけと、記録的には非常に悔いが残る試合となりました。

それでも何とか優勝し、全日本学生個人戦優勝のタイトルを手にすることができました。この結果からこれまでの取り組みで確実に成長できていると確信を得られた一方、多くの課題を見つけることができました。

継続とチャレンジを重ね、今後の試合でさらに良い結果を残せるよう精進してまいります。これからもご声援のほどよろしくお願いいたします。

駒阪勇気 (スポーツ科学部4年・男子主将)

令和5年度 第69回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

階級	選手名	学部学年	体重	BEST				TOTAL	
				S	順位	C&J	順位	記録	順位
M81	駒阪 勇気	スポ4	78.95	128	3位	163	1位	291	1位
M81	吉野 真太郎	スポ2	80.7	120	7位	156	5位	276	5位
M89	小山 秀斗	スポ3	85.3	131	1位	153	7位	285	1位
M89	須藤 之博	スポ2	85.65	125	5位	155	6位	280	4位
M109	羽田 創	スポ3	108.05	0	—	155	6位	—	—
M+109	木口 永遠	スポ4	111.5	128	5位	150	5位	278	5位
W59	原 志歩	スポ3	57.85	80	3位	100	3位	180	3位
W59	徳田 七海	スポ2	57.6	68	7位	91	6位	159	7位
W64	橋本 夏実	スポ3	60.55	82	2位	110	1位	192	2位
W71	伊藤 紗彩	スポ4	70.6	89 CR	1位	105	4位	194	3位
W76	田中 美奈	スポ4	74.75	91	1位	121 CR	1位	212	1位
W+87	吉田 琴乃	スポ4	104.55	80	1位	100	1位	180	1位

【所属表記凡例】 スポ：スポーツ科学部

【記録表記凡例】 C：大会 R：記録

年会費納入のお願い

早稲田大学ウエイトリフティング部の運営ならびに選手の育成・強化のため、また勧誘活動・受験指導のため、当会からの経済的支援が不可欠です。年会費の納入がまだお済みでない方はお振り込みをお願いします。

納期： 2023年度分は2023年12月末までに（なるべくお早めに）お振り込み願います。
振込額： **卒業4年目以降：15,000円 卒業3年目まで：10,000円**
振込先： 金融機関／支店 = **みずほ銀行 新宿新都心支店**
科目／口座番号 = **普通 8220922**
受取人名 = **トウモンウエイトリフティングクラブ**

5月21日、日吉キャンパスにて慶應義塾重量挙部の創部75周年祝賀会が開催されました。当会を代表して出席された志田会長に祝賀会の模様をレポートしていただきましたのでご紹介します。

慶應義塾重量挙部創部75周年祝賀会に参加して

慶応には「部歌」があった!!

5月21日(日)日吉キャンパスにて開かれ、わが部からは岡田部長、吉岡監督、それに私が出席しました。創部の経緯や尽力された井口幸男先生のエピソードなどが、配られた小冊子とともに先輩方のあいさつで紹介されていました。今回の祝賀会を創部の頃を知る事のない世代に部の由来や変遷を知らしめる大切な機会ととらえる主催者の意図が伝わってきたように感じました。

来賓を代表して岡田部長が挨拶しました。元会長酒井延幸先輩が事あるごとに「慶應への感謝」を口にされてきましたが、その意を伝えるとともに現塾長、現総長がともに運動部出身であることから両校のスポーツ面での交流活性化を訴えていました。

参会者はどちらかと言えばご高齢の方が多く、歓談の時間には旧交を温める様子が随所で見られました。会の中締め「部歌」と応援歌が斉唱されました。「部歌」は昭和28年に作られたそうで、福岡から来られた楠元泰弘先輩(慶應・昭和39年卒)によると「練習の後には必ず歌っていた」とか。初めて耳にし、羨ましく思った早稲田勢でした。

練習場にあったものは!!

早慶定期戦の会場として私たちも長く親しんできた日吉記念館が、2020年3月に改築・竣工しました。昨年予定されながらコロナの影響で延期されていたお披露目が、祝賀会の後に行われました。

東京2020で来日したイギリスチームが事前練習場として利用した名残のある室内は、明るく広く空調も効き、以前の練習場を知る者からすると格段の感がありました。前出の楠元先輩は前の日既に練習されたとのこと。

そこで見た圧巻は、井口先生が日本に初めて取り入れたシャフトとプレートの一式でした。この日のために寄贈先の秩父宮記念スポーツ博物館から借り出してきたとのこと。まさに鉄でできた武骨なフォルムには圧倒されました。

また、部室の壁に在籍部員の名札が掲示されていました。黒くなって名前を読み取ることも難しいような木札の列の中に自分や同期の名前を探したり、見つけた木札を写真に収めようとしたりする先輩方が後を絶ちませんでした。そう言えば、高石記念プール裏のわが道場にも木札がありましたね。



重量挙三田会 栗野宏会長と

最後に

祝賀会の流れはシンプルで、格別の美酒・饗宴があったわけではありませんが、「部歌」「シャフトとプレート」「試合関係資料の展示」「在籍部員の名札」「練習場のお披露目」など部の過去と未来が随所にちりばめられた素敵なお披露目でした。

2031年に75周年を迎えるわが部にもお手本となる会であったことを参加した3名はしっかり記憶に残して帰途につきました。(その前2026年に創部70年を迎えますが)

志田典明 (S51年卒・会長)

夏合宿・早慶定期戦のお知らせ

以下のとおり合宿を予定しています。

日程： **8月30日(水)～9月3日(日)**

場所： **山梨市民総合体育館**

山梨県山梨市上石森701 TEL 0553-22-5600

・JR中央本線山梨市駅タクシー10分

宿舎： **塩山温泉 宏池荘**

山梨県甲州市塩山上於曾1959 TEL 0553-33-2033

・JR中央線塩山駅徒歩10分

参加ご希望の場合は事前にご連絡ください。宿泊の手配はお手数ですがご自身にてお願いいたします。

連絡先： 主務・加茂千弦 E-mail：*****@*****.waseda.jp

夏合宿スケジュール（予定）

	1日目 8/30(水)	2日目 8/31(木)	3日目 9/1(金)	4日目 9/2(土)	5日目 9/3(日)
午前	移動	練習 09:00～	レクリエーション	練習 09:00～	積極的休養
午後	練習 16:00～	練習 16:00～	練習 15:00～	バーベキュー	練習 13:30～

◆第65回早慶ウェイトリフティング定期戦

日程： **10月29日（日）**

場所： **早稲田大学 17号館B2階 ウェイトリフティング場**

詳細は追ってご案内します。試合後の両校懇親会と合わせて皆さまのご参加をお待ちしております。

ウェイトリフティング部資料展示スタート

早稲田スポーツミュージアムで体育各部の第12期展示が始まりましたのでお知らせします。

当部として2度目となる今回は、松本潮霞先輩リオ五輪壮行時に贈られた手書き応援メッセージ入りの日章旗、鈴木梨羅先輩のIWF世界選手権メダルと競技で着用したユニフォーム・シューズ、女子インカレ連覇の証として優勝杯や優勝旗などを展示しています。

第1回早慶定期戦のチケットや創部間もないころの部員募集チラシなど貴重な資料もご覧いただけますので、ぜひお運びくださいますようご案内申し上げます。



◇会期（体育各部セレクション第12期展示）
2023年6月2日(金)～11月12日(日)
10:00～17:00 休館日：毎週水曜日ほか
※8月・9月は休館期間あり、ご注意ください

◇場所
早稲田スポーツミュージアム
戸山キャンパス 早稲田アリーナ3階

ポストコロナでの部活動復旧・継続に向けて、2023年度も引き続き部財政援助の取り組みを実施します。趣旨をご理解の上、OB・OG皆さまのご協力を賜れますと幸いです。

【山梨合宿・女子大阪遠征に向けた助成金の募金について】

今年度の女子インカレは、12月15日～16日に大阪府羽曳野市で開催される予定です。女子部員14名を主体とした遠征になりますが、往復交通費と宿泊費だけでも概算で100万円程度かかる見込みです。女子は創部以来初の「三連覇」を目指しての対抗戦となります。部員が安心してトレーニングに励み、目標とする成果を挙げられるよう、部の経済的負担軽減に向けてOB/OGの皆さまから広く助成金を募り援助に充てることとします。

また、今年度の夏合宿は、8月30日～9月3日の4泊5日、山梨市で行う予定です。拠点を関東圏に移し交通費を抑えるなど経費節減を図るものの総額で200万円ほどかかる見込みです。シーズン後半の各大会に向けてチームとして弾みをつける重要なイベントですので、本合宿も助成金の目的に追加し、募金目標額を540,000円とします。

なお、募金はOB・OGが対象です。部員保護者の皆さまはご心配なさらないでください。

【募金目標額】

540,000円

山梨：一人10,000円×33名分（部員28名＋指導スタッフ5名）

大阪：一人10,000円×21名分（女子14名＋学生トレーナー2名＋指導スタッフ5名）

【募集金額】

一口5,000円（5,000円以上1,000円単位で任意）

【募集期間】

2023年12月末まで（予定）

【申込方法】

当会口座に直接お振り込みください。

振込先： 金融機関／支店 = **みずほ銀行 新宿新都心支店**
科目／口座番号 = **普通 8220922**
受取人名 = **トウモンウエイトリフティングクラブ**

訃報

4月、加藤清忠先輩（S38卒）が永眠されました。

わが部の監督・部長を歴任、科目のウエイトトレーニング実習で多くの卒部生がお世話になりました。

長年にわたる研究活動の功績に対し敬意を表するとともに、わが部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝し、哀悼の意を捧げます。

ご案内のとおり部奨学金は、早稲田大学の寄付制度によるウエイトリフティング部指定寄付を財源として運用を続けていますが、2022年度は部員2名からの出願に対し計700,000円の給付を実施しています。

このたび受給者のお二人から部奨学金活用の成果について報告をいただきましたのでご紹介いたします。

※受給者の個人名記載は控えさせていただきます。

OB・OGの皆さま、日頃より部のご指導ご支援、誠にありがとうございます。この度はウエイトリフティング部奨学金のご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

学生生活はもちろん部活動も最後の年となり、学業に部活動、就職活動と忙しくも充実した日々を過ごしております。学業と部活動の両立を目指す中でアルバイトをする時間が作れずに困っていたところ、この奨学金に助けられ、現在は学業、部活動ともに集中して取り組むことができます。

私自身の競技成績もさることながら、12月のインカレで女子団体三連覇を成し遂げるため、部員一丸となって毎日練習を積み重ねております。全員の力を合わせて目標を達成し、OB・OGの皆さまに結果で恩返しするとともに感動をお届けできたらと思います。

ご期待に恥じぬよう残りの学生生活をより良いものにし、自立できるよう努力してまいります。

ウエイトリフティング部奨学金のご支援によって、経済的な負担だけでなく精神的な負担も軽減することができ、学業、部活動ともに集中して取り組むことができました。

学業においては、少しではありますがGPAが回復しました。これは精神的負担の軽減により自己管理がしやすくなったためだと考えています。

部活動においても、精神的負担の軽減により競技について考える時間を確保できるようになり、怪我もありませんでしたが、復帰戦として目標に設定した国体に出場することができました。また、年間の目標としていたインカレに選手として出場しスナッチとC&ジャークともに自己新記録を挙げて、女子団体連覇達成に貢献することができました。

奨学金が支えとなり、このような成果を収めることができました。ご支援いただいた皆さまに感謝申し上げます。今後も学業、部活動ともにより上を目指して励んでまいります。

【部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金について】

資源価格高騰の影響や気候変動に伴う風水害等の発生により、わが部においても家計急変で修学の継続が難しくなる部員が出てくるのが懸念されます。志を持って早稲田に進学・入部してきた後輩たちが誰一人として経済的理由により修学をあきらめることのないよう準備しておきたいと存じます。

【申込方法】

早稲田大学の寄付制度による「ウエイトリフティング部」指定寄付

※ 本制度による寄付は、寄付金控除の対象となります。

指定寄付は通年、以下のURLからお申込みいただけます。

<https://kifu-form.waseda.jp/waseda/exp/explanation.htm>

[操作手順]

1. 上記URLのページで『下記(上記)の条件に同意し「寄付を申し込む」』をクリック
2. STEP1申込入力が必要事項を入力、「寄付の種類」欄で「**体育各部または早稲田スポーツ全般**」を選択、続いて「指定先」欄で「**ウエイトリフティング部**」を選択
3. 決済情報入力後、『入力内容確認へ』をクリック、その後、STEP2確認画面～STEP3完了へと進む

探球会4年ぶり活動再開！

5月23日、神奈川県の中津川カントリークラブにおいて2019年以来4年ぶりに探球会（当会親睦ゴルフ会）が開催されました。

当日はOB 8名と校友1名が参加。終始レインウェアを着用してのラウンドとなりましたが、雨・風とも強まることはなく、参加者全員のびのびとプレーを楽しむことができました。

プレー後に表彰式が行われ、コンペは幾島稔先輩（H03卒）が優勝。ベストグロスは87で森武彦先輩（S45卒）でした。

【参加者】

田口薫(S42) 内村正月(S44) 藤田和雄(S44) 上野稔(S45) 森武彦(S45)
石橋義久(S51) 野中弘一(H01) 幾島稔(H03) 尾崎光郎(校友)



なお、探球会は以下のとおり幹事が交代となります。

新・幹事長 石橋義久（S51卒）
新・幹事 幾島稔（H03卒）

藤田先輩・上野先輩・森先輩には長年の幹事対応、誠にありがとうございました。

探球会では新規メンバーを募集しています。バーベル会（重量拳三田会との親睦ゴルフ会）を含め年に2～3回開催しますので、ゴルフの経験がある方、まだ始めたばかりの方もOB・OG相互親睦のため、ぜひご参加ください。

野中弘一（H01卒）

寄付者ご芳名

部の育成発展並びに当会の運営に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

■ 部遠征等助成金・寄付（女子大阪遠征・宮崎合宿助成金を含む・2022年度）

- 100,000円 野中弘一(H01)
- 50,000円 山内英雄(S42)・鵜飼信一(S46)・志田典明(S51)・根本進(H05)
- 40,000円 相場浩徳(S58)
- 30,000円 谷川吉史(S45)・岩永勉(S47)・宮川優(S52)
- 20,000円 村岡芳彦(S44)・石橋義久(S51)
- 18,000円 高橋靖夫(S57)
- 10,000円 鈴木伊能勢(S43)・森武彦(S45)・正木隆至(S48)・鷺田徹夫(S49)
・加納修(S59)・森田稔哉(H07)・升田友也(H09)・清水大輔(H11)
・近藤大貴(H15)・大塚一樹(H24)・堀井勇也(H27)・木村勇喜(R03)
- 5,000円 若宮知輝(H03)

◆ 指定寄付（ウェイトリフティング部指定・2022年度）

- 50,000円 谷川吉史(S45)
- 50,000円 海崎良仙(S54)

2022年度総会報告 (1/2)

3月19日、早稲田大学染谷記念国際会館において、2022年度総会が開催されました。

短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく活発な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

岡田正三(S45) 鷲飼信一(S46) 岩永勉(S47) 志田典明(S51) 伊藤茂(S51) 数野裕之(S59)
野中弘一(H01) 吉岡史生(H13) 武井誠一郎(H24) 松本潮霞(H26) 堀井勇也(H27) 鈴木梨羅(R03)

【議事要旨】 ※会計資料は稲門ウェイトリフティングクラブWebサイトをご覧ください。

[議題1] 2022年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、2022年度の活動及び収支決算、並びに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。

- *「会費」は、会員164名から計1,934,000円の納入がありました。先輩皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。
- *「女子大阪遠征・宮崎合宿助成金」に会員25名から計613,000円の協賛を賜りました。誠にありがとうございました。
- *「対抗戦・国体等参加親睦援助」は、インカレ（さいたま市/羽曳野市）に会場されたOB・OGに飲み物を提供しました。
- *「代表者活動補助費」は、稲門体育会会員総会参加者6名に対し合計14,000円（当会負担金48,000円から参加者自己負担額計34,000円を差し引いた額）を支出しました。また、代表委員活動経費補助として富田史子先輩(H19卒)の参加に伴う交通費（岩手～東京往復27,120円）及び宿泊費補助（5,000円）を支出しました。
- *「通信費・消耗品費」は、主にクラブニュース発行3回分及び2022年度総会資料の郵送経費を計上しています。また、電子メール配信の参加者は190余名に達しました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。
- *「会議費」は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、予算の執行を見送りました。
- *「慶弔費・予備費」は、昭和47年卒・藤本幹人輩のご逝去に伴い生花をお供えしました。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は、予算260,000円と女子大阪遠征・宮崎合宿助成金に協賛を賜った613,000円全額を積み立て、うち500,000円を部への遠征補助として支出し、残り373,000円はコーチ陣の遠征補助に充てました。
- *「国内遠征帯同補助(コーチ)」として国内4大会と宮崎合宿への帯同経費補助として計649,210円を支出しました。
- *「国際競技会代表選手遠征補助」は、世界選手権（コロンビア）派遣選手に対する遠征補助を支出しました。
- *「新記録樹立褒賞」は、世界選手権銀メダル獲得と大学公認最高記録樹立を表彰し副賞としてギフト券を贈呈しました。
- *「インカレ女子優勝記念品作成費」は、団体優勝記念の刻印を施したメダルを20個作成し女子部員全員に贈呈しました。
- *「特別積立金(75周年記念事業等)」は予算どおり200,000円を積み立てました。

[議題2] 会費年額の見直しに関する件

事前にメール、郵送により実施した意見照会の結果は以下のとおりです。

- *負担感から卒業3年目までの会費年額は現行の10,000円に据え置くべきとの意見が1件
- *負担感から会費納入者が減る恐れを懸念する意見（併せて外部資金調達等の提言）が1件
- *反対の意思を示すメール、電話による連絡はありませんでした。

幹事会決議：賛成（幹事長一任）多数、反対なし

【参考】資料送付会員数：216名 内訳：メール送付173名、郵送43名

寄せられた意見も踏まえ以下の方針で総会に諮り、出席者で部内外情勢や必要性を確認したのち、満場一致で承認されました。

***卒業4年目以降：15,000円 *卒業3年目まで：10,000円（現行据え置き）**

【背景・目的】

コーチの国内遠征帯同に伴う経済的負担軽減の取り組みとして、2017年度に「特別積立金（部遠征補助等）」の運用を見直し、当時約183万円（繰越金約83万円、会員個人ご寄付100万円）の積立金を資金に支援を続けてきましたが、2022年度期末における残高が20万円を切り、2023年度以降資金が不足する見通しとなりました。

この取り組み以降、インカレ団体戦で女子が3度優勝し、男子も2度3位入賞の成績を収め、顕著な成果を挙げていることも踏まえ、支援の継続に向けて今後は広く会員の皆さまから資金を集めコーチの活動を支える形に移行します。

[議題3] 2022年度特別表彰に伴う褒賞に関する件

吉武温子選手(R05卒/当時4年)の大学公認最高記録樹立（女子76kg級/スナッチ100kg）を称え、予餞会で表彰を行い副賞としてギフト券（5,000円相当）を贈呈しました。特別積立金（部遠征補助等）からギフト券代4,925円を支出することについて、原案どおり承認されました。

[議題4] 2022年度インカレ女子優勝に伴う記念品製作に関する件

インカレ二連覇の功績を称えるため記念品としてオリジナルのキーホルダーを製作し、祝勝会で女子部員17名に贈呈を行いました。特別積立金（部遠征補助等）から記念品の製作費23,188円を支出することについて、原案どおり承認されました。

[議題5] インカレ女子連覇祝勝会兼予餞会収支予算に関する件

同日（3月19日）開催するインカレ女子連覇祝勝会兼予餞会の収支予算について説明し、収支実績が赤字となった場合に特別積立金（部遠征補助等）から不足分（概算で33,000円程度）を支出することについて、原案どおり承認されました。

(次ページへ)

[議題6] 女子大阪遠征・夏合宿に向けた助成金の募金に関する件

引き続き2023年度も、三連覇を目指すインカレ女子の大阪遠征とチーム強化の重要イベントである夏合宿を対象に、部の経済的負担軽減を目的として一定の目標額を定め助成金の募金呼びかけを行うことについて、原案どおり承認されました。

[議題7] 慶應義塾重量挙部創部75周年記念式典に伴う祝儀拠出に関する件

岡田部長・吉岡監督・志田会長宛てに、慶應義塾重量挙部の創部75周年記念式典（5月21日・日吉キャンパス）の招待状が届きました。出席に際し、当会ならびに部からの祝儀として30,000円を拠出することについて、原案どおり承認されました。

[議題8] 2023年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、2023年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

- *「会費」は、2,255,000円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼びかけを継続して行います。
- *「部への補助」、「新人勧誘費」、「学生MVP賞品代」、「卒業生記念品代」は、これまでと同等の援助を行います。
- *「親睦援助」にて、インカレ・早慶定期戦来場者への飲料提供、国体等大会開催地でのOB・OG懇親会への補助を行います。
- *「代表者活動補助費」にて、稲門体育会会員総会出席者の参加費補助、代表委員の活動に伴う経費の補助を行います。
- *「会議・意見交換会補助」にて、当会代表者と4年生部員との意見交換会を行う予定です。
- *「特別積立金(75周年記念事業等)」は、引き続き200,000円を積み立てます。
- *「特別積立金(部遠征補助等)」は、600,000円を積み立てた上で、国際競技会代表選手遠征補助、インカレ女子大阪遠征補助、コーチの国内遠征帯同補助及び特別表彰褒賞等に充てていきます。

[その他] 小野梓記念スポーツ賞・スカラアスリート賞受賞について（報告）

卒部生（R05卒OB・OG）の各賞受賞について報告がありました。受賞された卒部生の皆さま、誠におめでとうございます。

- *小野梓記念スポーツ賞：<個人> 柏木良太、佐藤康太郎、鈴木莉乃、原沙織、吉武温子 <団体> ウェイトリフティング部
- *スカラアスリート賞：柏木良太、吉武温子、北村彪※学生トレーナー/フィンスイミング短水路日本選手権3位の業績等

インカレ女子連覇祝勝会・予餞会模様

3月19日、総会に引き続きインカレ女子連覇祝勝会と予餞会が開催されました。

卒部生は10名で、それぞれ頑張った4年間を振り返りながら部に対する思いや今後に向けた決意を語ってくれました。4年間本当にご苦労さまでした。

予餞会に続いて行われたインカレ女子連覇祝勝会では、動画で試合を振り返りながら2年連続5度目となる団体戦優勝の喜びを分かち合いました。また、当会から女子部員全員に記念のオリジナルキーホルダーを贈呈しました。

卒部生氏名（学部）

久保美波（社会）	鈴木莉乃（スポーツ）	原沙織（スポーツ）	吉武温子（スポーツ）
家吉理空（社会）	柏木良太（スポーツ）	坂本拓夢（スポーツ）	佐藤康太郎（スポーツ）
西堅也（スポーツ）	宮下一心（社会）		



卒部生男子6名



卒部生女子4名